



いちご組だより

2024年9月発行 社会福祉法人尚徳福祉会
おぐら保育園

まだまだ暑い日が続いていますが、目にする虫もセミからトンボへとバトンタッチ。秋の訪れを感じる頃となりました。入園から半分近く過ぎて、できる事がどんどん増えた子どもたち。「やりたい!」「できたよ!」と、いろいろなことに積極的です。その気持ちに寄り添いながら、保護者のかたと共に子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいと思います。

みんなで食べるとおいしいね!

保育者が「あ〜ん」としていた頃とは違い、今ではどの子もスプーンや手づかみ食べがとても上手になりました。「みんなで楽しく食べられるように、大きなテーブルにしてみようか?」と6人掛けのテーブルを2台出したところ・・・これが大成功! 食べながらお互いの顔を見合わせて楽しそうに微笑んだり「わたしも! ぼくも!」と次々とおかわりをしたりしています。周りの友だちを見ながら、まねをして食べていることもあります。楽しい雰囲気の中、食べる意欲を大切にしつつ見守っていきたいです。

絵本が大好き

「はじまるよ、はじまるよ!」の歌が聞こえると「今日はなんだろう?」と小走りで集まってくるほど、絵本が大好きな子どもたち。特に歌いながらの読み聞かせは「もう一回読んで!」のリクエストがあるほど大人気です。保育者のまねをして一緒に体を動かす子や、それ知ってるよ!と指さしながら「ワンワン!」と教えてくれることもあります。みんなが大好きな絵本、毎日欠かさず読み聞かせをしています。



すいかパクパク〜

8月の制作は、画用紙で作ったすいかに黒のシールを貼りました。はじめはシールをどう貼っていいかわからなかった子も、保育者がやり方を示してシールを指に乗せると、小さな手で一生懸命ペタリ!「できたよ!」と大喜びで次々とシールを手にとっていました。「もっとやりたいよ〜」という子もいて、別の紙にたくさん貼っていました。完成したすいかを「おいしいね〜」と笑顔でパクパクする、可愛い子どもたちでした。

